

芸術文化会館（いちようホール）

視点	施設名	評価項目	No.	6月			9月			12月			期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価（コメント）
				所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価（コメント）	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価（コメント）	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価（コメント）			
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	定量的	事業計画書に基づく人員の配置 【館長1名、主査1名、主任1名、主事2名、管理運営9名、舞台管理7名、施設管理7名、事業企画業務2名】	1	B	施設管理担当1名の退職があったが、短時間のパート職員であったため、シフトを組み直して対応している。	事業計画書に基づき、館長1名、主査1名、主任2名、主事1名、管理運営8名、舞台管理7名、施設管理6名、事業企画業務2名を配置。 施設管理のパート職員1名が4月に退職となったが、6名で管理に支障がないようシフトを組み、運営を行った。	B		事業計画書に基づき、館長1名、主査1名、主任2名、主事1名、管理運営8名、舞台管理7名、施設管理6名、事業企画業務2名を配置。 舞台管理1名が8月を以って退職し9月より6人体制となったが、「フリーランス技士」と契約するなどで補充し、舞台の運営に支障の無いようシフトを組み、対応した。						
		事業計画書に基づく有資格者の配置 ・舞台機構調整技能者1級 1名 ・照明技術者1級 1名 ・音響技術技能3級 1名 ・玉掛技術者 1名 ・甲種防火管理者 1名 ・上級救命技能認定者（消防）1名 ・職長・安全衛生責任者教育修了者 1名 ・自衛消防技術認定 6名 ・電気主任技術者 1名 ・建築物環境衛生管理技術者（ビル管）1名 ・サウンドレコーディング技術B 1名 ・乙種消防設備士6類 1名 ・第一種消防設備士4名 ・第一種電気工事士 1名 ・第一種電気工事士 1名 ・危険物取扱乙4類 1名 ・ポイラー2級 1名 ・特別管理産業廃棄物管理責任者 1名	2	A	事業計画に基づいた有資格者の配置に加え、施設の管理運営上、配置が望ましい資格保有者を確保して、安定した施設運営につなげている。	事業計画書に記載の有資格者数を確保。以下のとおり的人员を配置した。 ・舞台機構調整技能者1級 1名 ・照明技術者1級 1名 ・音響技術技能3級 1名 ・玉掛技術者 1名 ・甲種防火管理者 2名 ・上級救命技能認定者（消防）2名 ・職長・安全衛生責任者教育修了者 3名 ・自衛消防技術認定 7名 ・電気主任技術者 1名 ・建築物環境衛生管理技術者（ビル管）3名 ・サウンドレコーディング技術B 2名 ・乙種消防設備士6類 1名 ・第一種消防設備士4名 ・第一種電気工事士 4名 ・危険物取扱乙4類 4名 ・ポイラー2級 5名（1級1名含む） ・特別管理産業廃棄物管理責任者 1名 ・第一種衛生管理者 1名 各評価項目に該当しない、又は必要人員以上に職員を配置することで改修前の体制を強化した。	A	事業計画に基づいた有資格者の配置に加え、施設の管理運営上、配置が望ましい資格保有者を確保して、安定した施設運営につなげている。	事業計画書に記載の有資格者数を確保。以下のとおり的人员を配置した。 ・舞台機構調整技能者1級 1名 ・照明技術者1級 1名 ・音響技術技能3級 1名 ・玉掛技術者 1名 ・甲種防火管理者 2名 ・上級救命技能認定者（消防）2名 ・職長・安全衛生責任者教育修了者 3名 ・自衛消防技術認定 7名 ・電気主任技術者 1名 ・建築物環境衛生管理技術者（ビル管）3名 ・サウンドレコーディング技術B 2名 ・乙種消防設備士6類 1名 ・第一種消防設備士4名 ・第一種電気工事士 4名 ・危険物取扱乙4類 4名 ・ポイラー2級 5名（1級1名含む） ・特別管理産業廃棄物管理責任者 1名 ・第一種衛生管理者 1名 各評価項目に該当しない、又は必要人員以上に職員を配置することで改修前の体制を継続した。						
		設備点検実施回数 【建物管理5回、空調・給排水44回、昇降機等54回、舞台設備21回】	3	-	年度末の数値をもって評価する。	設備点検実施回数は次のとおり。 建物管理 1回 空調・給排水 18回 昇降機等 19回 舞台設備 11回	-	年度末の数値をもって評価する。	設備点検実施回数は次のとおり。 建物管理 5回（累計6回） 空調・給排水 20回（累計38回） 昇降機等 21回（累計40回） 舞台設備 8回（累計19回） 既に目標値を達成している点検もあるが、今後閉館前の10月までに目標を達成する見込みである。						
団体の経営方針が明確であり、きちんとした経営がされていること	定性的	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設しているか 【確認資料例：銀行口座】	4	B	協議に基づき、収入については施設ごとに入金専用口座で受け入れ、支出については財団本体のメイン口座で一括管理している。	B	八王子市との協議に基づき、収入については施設ごとに入金専用口座で受け入れ、支出については財団本体のメイン口座で一括管理している。								
		資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか 【確認資料例：独立した会計帳簿】	5	B	資金は財団本体のメイン口座にて適正に管理し、経理内容を明確にしている。	B	資金は財団本体のメイン口座にて適正に管理し、経理内容を明確にしている。								
		利用料金、使用料の徴収は適正に行われているか 【確認資料例：独立した会計帳簿・日報、月報・使用料等取納（徴収）事務委託契約書・銀行口座】	6	B	利用料金は設定した利用料金表に基づき、パレスシステムによりデータを集計し、適正に徴収している。なお、利用料金の取り扱いを市と協議のうえ令和5年4月より利用日ベースから収入日ベースに変更した。キャッシュレス決済を導入し、4月8件、5月10件、6月12件と順調に利用が拡大している。	B	インボイスの対応については3館会議で積極的に議論し、10月から施行可能とした。予算資料として広くシステム会社からヒアリングを行い、貸出しシステム更新についても検討し、比較表を市に提出した。 また、市が導入したスマレジを活用し、クレジットカード等の利用によるキャッシュレス決済の対応。7月17件、8月14件、9月18件で合計49件となり第一四半期より19件の増、順調に利用が拡大している。 (延79件)								
		収支計画が適正であること 【確認資料例：事業計画書（収支計画）・事業報告書】	7	B	高騰している公共料金を踏まえ、支出を抑制し適正に執行。（予算以上の高騰はない。）また、事業報告については毎月市に報告している。	B	国の補助により電気料金の高騰が抑えられていることもあり予算範囲内に収まっている。また、不要な電気の抑制など節電には引き続き努め支出の抑制をし適正な執行に努めている。また、事業報告等については毎月八王子市に報告している。								
		管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	8	B	業務を実施するにあたり、適切な人員配置や育成がなされているか 【確認資料例：事業計画書（人員配置計画）・事業報告書・研修報告書・実地調査】	B	人員配置計画書に基づき適切な人員配置を行った。 5月17日に財団の内部監査を行ったが、監事への説明資料作成など、その準備をプロパー全員で対応した。	B	人員配置計画書に基づき適切な人員配置を行った。必要な研修として、「いちよう塾多摩と八王子の発展史」、「全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会」、「J:COM八王子バックステージツアー2023」及び「主任研修」等職員のスキルアップに資する研修に積極的に参加した。						
施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	定性的	給与の支出が適切に行われているか 【確認資料例：給与規程・賃金台帳】	9	B	給与の支出は給与規程に基づき適切に行っている。	B	給与の支出は給与規程に基づき適切に行っている。								
		事業者の経営状況が健全な状態であるか 【確認資料例：財務諸表・財務評価表】	10	B	11月以降、大規模改修工事に伴い休館するため、特定規模電気事業者（PPS）から電力を調達することができなかった。引き続き、節電や節水等に努め、支出を抑制した。	B	11月以降、大規模改修工事に伴い休館するため、特定規模電気事業者（PPS）から電力を調達することができなかったが、節電や節水等に努め、引き続き支出を抑制した。								
		業務の一括委託が行われていないか 【確認資料例：第三者への一部事務委託に関する承諾書・事業報告書・実地調査・会計帳簿】	11	B	「芸術文化会館の指定管理に関する基本協定」第16条の規定に沿って適切に対応している。	B	「芸術文化会館の指定管理に関する基本協定」第16条の規定に沿って適切に対応している。								

令和5年度モニタリングシート【芸術文化会館】

視点	評価項目	No.	6月			9月			12月			期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)
			所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)			
施設運営が運営において公共性、公平性が図られているか	業務に関連する法令一覧の更新回数【1回/年】	12	B		6月12日に実施。	-		左記のとおり既に実施済						
	サービス介助士 取得率100% (貸館業務10名、舞台管理業務5名) 臨時職員については、基礎講習受講者も含む	13	-	年度末の数値をもって評価する。	臨時職員を含む対象者15名中、15名取得済み。	-	年度末の数値をもって評価する。	臨時職員を含む対象者15名中、15名取得済み。(8月対象者1名が退職したため、現在は14人。)						
	利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	14	B		開館日数 78日 開館時間 通常通り9時から22時まで開館した。 また必要に応じてホール等の前延長希望にも対応した。	B		開館日数 79日 開館時間 通常通り9時から22時まで開館した。 また必要に応じホール等の前延長希望にも対応した。						
	減免の申請手続きがなされた場合、適正に処理されているか(※該当の場合)	15	B	ヒアリングの際に申請書を確認した。	減免団体取扱要領に基づき適正に処理している。第1四半期では該当する申請は1件だった。	B	ヒアリングの際に申請書を確認した。	「八王子市芸術文化会館条例施行規則」第7条に基づき適正に処理している。第2四半期では該当する申請は2件だった。						
	文書の管理・保存が適切に行われているか。また、大規模改修にともなう文書・書類の引越等の管理が適切に行われているか。【確認資料例：ファイル基準表(なければそれに準ずるもの)・実地調査】	16	B		会館運営業務文書一覧表及びファイル基準表に基づき、適切に管理している。大規模改修工事に伴う引越にあたり、市と調整をしながら書類及び備品等の確認をしている。	B		会館運営業務文書一覧表及びファイル基準表に基づき、適切に管理をしている。						
施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか	修繕等、施設保全が適切に行われているか【確認資料例：事業報告書・実地調査】	17	A	大規模改修を目前に控えた状況と利用者からの要望を考慮し、様々な方法を検討のうえ要望に応えた。比較的安価に対応することができたとのことで、積極的に取り組んだ成果を評価したい。	兼ねてから課題となっていた築屋のシャワーの温水使用について、ボイラーの改修が必要で数千万円もの経費がかかることから、大規模改修まで見送ることとした。一方、利用者からの強い要望を踏まえ、ボイラー改修以外の方法を何度も検討してきた結果、既存の配管に給湯器を仮設することで対応可能とわかり、修繕のうえ、温水シャワーを提供することができた。	B	大規模改修直前であっても、利用者のニーズに応えるべく不具合箇所の修繕を適切に行なっている。特に空調関係(冷温水機)については頻繁に異常が見受けられ、今夏の異常気象を凌ぐべく対応に追われたが、利用者から体調不良者が出ることなく安全に利用いただくことが出来た。引き続き現場と調整をしながら対応する。							
	備品の管理が適切に行われているか。また、大規模改修に伴う備品の引越等の管理及び再開時に向けた更新備品の提案がなされているか。【確認資料例：備品台帳・実地調査】	18	B		引き続き備品の清掃や除菌、破損箇所の修繕などを実施。また、お客様の声を聴きながら定期的な職員による点検作業を行うなどの管理を実施した。大規模改修後の諸室のレイアウトやそれに伴う備品について専門業者と打合せを重ねた。	B		コロナウィルスが1類から5類へと引き下げられたものの、インフルエンザも例年より早く流行しており、感染対策は重要であることから、備品清掃や除菌を継続実施し感染対策を行っている。また、お客様の声を聴きながら定期的な職員の点検作業により破損箇所(貸出機の使える足と機の板の組み替えを自前で行った)等適宜修繕を適宜行った。事務所引越に関する内容については引き続き市及び専門業者と打合せを重ねた。						
	利用者の満足度	19	-	総合的な満足度 98.5% (“大いに満足”と“満足”の合計)	7月からの調査実施に向け調整、準備をしている。	-		7月から9月までを調査実施期間とし各施設のサンプル数を回収した。集計がまとまり次第報告する。第3四半期のモニタリングにて発表する。						
サービス向上 利用者の増加等を図る方策が図られているか	ロビーコンサートの開催 20回	20	-	年度末の数値をもって評価する。	4月 2回 43名 5月 3回 86名 6月 3回 124名 計8回 253名	-		7月 3回 96名 8月 2回 80名 9月 3回 142名 計8回 318名 累計 16回 571名						
	バックステージツアー一年1回開催 参加者数 40名	21	-	事業実施後に評価する。舞台スタッフも含め、企画内容を検討しており、どのような内容となるか、実施を楽しみにしたい。	バックステージツアーは8月13日に開催予定で準備している。事業規模を大きく拡大し募集人員は40名×2公演と設定し、教育委員会の後援を得て、校長会で趣旨を説明した上で各小学校に募集チラシを配布した。	A	演出などの企画内容についてはよく検討しており、参加者からも好評だった。また、効果的な周知を図ることで、当初の予定よりも参加者増となった。積極的に評価したい。	8月13日、バックステージツアーの参加者は162名。保護者や弟妹の参加も受け入れ目標人員より120名増となった。舞台スタッフの演出は好評で「次回開催への期待の声」が寄せられた。募集にあたり、小学校長会や各校への協力が得られた事は、これまでの小学校対象の芸術文化、大学連携及びスポーツ事業での蓄積が信頼につながっているものと自負する。						
	利用者からの苦情処理の体制がとれていること	22	B	利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか。【確認資料例：相談、苦情をまとめた整理帳簿】	「お客様の声対応システム」により適切にかつ迅速に対応している。実績は月次報告のなかで市に報告している。要望3件、謝辞14件	B		「お客様の声対応システム」により適切かつ迅速に対応している。実績については月次報告の中で八王子市に報告している。要望2件、謝辞19件、苦情3件 ※苦情内容は改修工事にて解決する。(トイレの増設・洋式化)						
施設の経費の率節減が図られ運営が円滑に行か	管理経費(人件費、修繕費を除く)の支出額 収支計画以下【106,946千円以下】	23	-	年度末の数値をもって評価する。	第1四半期管理経費支出額 32,987,220円	-	年度末の数値をもって評価する。	第2四半期管理経費支出額 24,001,471円 累計56,988,691円						
	利用料金収入 収支計画以上【63,034千円(キャンセル料は除く)】	24	-	年度末の数値をもって評価する。キャッシュレス決済は、企業の施設利用の際に使われることが多いとの報告があった。	第1四半期利用料金収入額 30,084,800円 ・内、令和4年度中に入金した令和5年度利用料金10,819,980円 ・キャッシュレスによる支払利用件数が30件あり、導入効果が認められる。	-	年度末の数値をもって評価する。	第2四半期利用料金額(収入日ベース) 20,666,880円 累計50,751,680円 ・内、キャッシュレスによる支払い利用件数は49件、第一四半期より19件の増、導入効果が認められる。累計79件						

令和5年度モニタリングシート【芸術文化会館】

視点	評価項目	No.	6月			9月			12月			期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)
			所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)			
事業の達成目標が明確で、 定量的な事業計画に基づいて事業が行われている	施設の日数利用率	ホール 80%以上	25	-	年度末の数値をもって評価する。 81.6% (利用可能日数136日、利用日数111日)	-	年度末の数値をもって評価する。 89.9% (利用可能日数148日、利用日数133日) 累計85.9% 利用可能日数284日、利用日数244日							
		練習室、会議室、展示室 65%以上	26	-	年度末の数値をもって評価する。 65.5% (利用可能日数702日、利用日数460日)	-	年度末の数値をもって評価する。 79.4% (利用可能日数632日、利用日数502日) 累計72.1% 利用可能日数1,334日、利用日数962日							
		創作室、茶室 60%以上	27	-	年度末の数値をもって評価する。 59.0% (利用可能日数234日、利用日数138日)	-	年度末の数値をもって評価する。 60.8% (利用可能日数237日、利用日数144日) 累計59.9% 利用可能日数471日、利用日数282日							
	指定管理事業：鑑賞事業実施件数 4件/年	28	-	年度末の数値をもって評価する。 6/3.4 車人形三座競演 計831人 6/17 森麻季&錦織健デュオリサイタル 636人	-	年度末の数値をもって評価する。 7/1 松竹大歌舞伎 469人 8/1 8人の王子たち 第8楽章！ 241人 9/3 村治佳織ギターリサイタル ~ギター・オリジナル名曲選&シネマ名曲選 760人 9/27 春風亭小朝 独演会 635人								
	指定管理事業：市民参加型事業実施件数 3件/年 ・八王子ユースオーケストラ公演 ・八王子ユースシアター ・いけばな教室	29	-	年度末の数値をもって評価する。 初心者のためのいけばな教室 6回141人参加 ユースオケワークショップ(WS) 11回203人参加 演劇ネットワークばちばちWS 9回190人参加 5/14 王子の授業 36人	-	年度末の数値をもって評価する。 初心者のためのいけばな教室 6回166人参加 ユースオケワークショップ(WS) 5回 87人参加 241人 演劇ネットワークばちばちWS 11回361人参加 3件								
事業の達成目標が明確で、 定性的な事業計画に基づいて事業が行われている	本市の文化芸術振興に向けた管理運営がなされていること	30	A	大規模改修工事に伴う休館中においても、事業を継続できるよう、近隣の寺院や商業施設などと調整し、会場の確保を図った。文化芸術ビジョンの「そだてる」、「とどける」に資する取組であり、評価したい。	A	大規模改修工事に伴う休館中においても、事業を継続できるよう、近隣の寺院や商業施設と調整し、ロビーコンサートの会場確保を図った。文化芸術ビジョンの「そだてる」、「とどける」に資する取組であり、評価したい。								
	資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がなされていること	31	B	昨年度試験的に実施し、一定の効果があつた遮熱シートの取組を、本年度も継続することとした。今後の効果に期待したい。	B	昨年度試験的に実施し、一定の効果があつた遮熱シートは引き続き配置しているとのこと。								
個人情報保護管理及び危機管理が図られている	利用者を対象とした「避難経路説明会」を実施 年1回実施	32	B	5月12日に実施した。施設利用を申し込んでいる団体に案内を送付し、参加を呼びかけ、主催者も避難誘導をするという意識を持っていただけたよう説明を行った。参加者の安心・安全に効果がある事業であった。 参加：7団体21名 アンケート結果 満足度100% (大いに満足38%、満足62%)	B	左記のとおり実施済。 今年度の実施目標は達成。 引き続き、打合せや見学の都度、避難誘導など協力をお願いした。								
	個人情報保護関連研修(情報セキュリティ・マイナンバー等)への参加回数 【1回/年】	33	-	11月に実施を予定している。	-	11月に実施を予定している。								
	防災・消防訓練の実施または参加回数 【2回/年】	34	-	年度末の数値をもって評価する。	-	年度末の数値をもって評価する。								
	AED資格取得率 100% (期中の新規採用者・休職中の職員等は除く)	35	-	年度末の数値をもって評価する。	-	年度末の数値をもって評価する。								
個人情報の取り扱いが適切であること	個人情報の適切な管理のため必要な措置が講じられているか 【確認資料例：マニュアル・事業計画書(事業計画)・事業報告書】	36	B	個人情報の安全管理実施要領に基づき、適切な管理を行っている。	B	個人情報の安全管理実施要領に基づき、適切な管理を行っている。								

令和5年度モニタリングシート【芸術文化会館】

視点	評価項目	No.	6月			9月			12月			期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価（コメント）
			所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価（コメント）	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価（コメント）	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価（コメント）			
定性的	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか 【確認資料例：保険証券】	37	B		公立文化施設賠償責任保険及び公立文化施設自主事業中止保険に加入している。	B		公立文化施設賠償責任保険及び公立文化施設自主事業中止保険に加入している。（閉館中は一時解約をし年払いの残額は返金となる。）						
	緊急（防火・防犯等）対応等危機管理体制が取られていること 事故や災害発生時の緊急時の対応が適正に行われたか。また、適正に行えるよう体制が整っているか。 【確認資料例：マニュアル・事業計画書（事業計画）・事業報告書】	38	B		「事故報告システム」により適切に対応している。実績は月次報告のなかで市に報告している。	B		「事故報告システム」により適切に対応している。実績は月次報告のなかで市に報告している。 「事故報告システム」により適切に対応している。実績は月次報告のなかで市に報告している。今回の事故の一例として、主催者が廊下を走り転倒、職員がその場において声掛けをしたが本人が何度も「大丈夫」と繰り返すことからその場にて対応は終わった。夕方窓口に「痛い」旨の話があったが、今回は館の過失にあたらないため適用外と説明し理解を得られた。また、検討課題については常に話し合い（ミーティングでの情報共有）、内部決裁を得て説明・貼紙（お客様の声）にて対応している。						